

企画提案書の提出者を選定するための基準

評価項目	評価の着目点			評価 ウェイト	
	判断基準				
参加表明者(企業)の経験及び能力【40点】	専門技術力	①同種業務の実績	平成26年度以降に完了した同種業務の実績について下記の順位で評価する。 ・同種業務の実績が5件(15点) (ただし、実績が5件のうち下水道事業におけるPPP/PFI導入検討業務が2件以上含まれること。) ・同種業務の実績が4件(10点) ・同種業務2件以上4件未満(5点) なお、2件未満の業務実績が無い場合は選定しない。(資格要件を満たさない。)	15	
		②下水道部門における業務表彰実績の有無	表彰実績は、平成26年度以降に九州管内で完了した業務とし、国土交通省、日本下水道事業団、学会、各種協会等から受賞したのものについて下記の順位で評価する。 ・業務で3件以上の表彰実績有り(15点) ・業務で2件以上の表彰実績有り(10点) ・業務で1件以上の表彰実績有り(5点) なお、上記に該当しない場合は評価しない。		15
	地域精進度	③当該地域の業務実績	令和1年度以降の業務実績について下記の順位で評価する。 ・佐賀市内での3件以上の業務実績有り(10点) ・佐賀市内での1件以上の業務実績有り(5点) なお、上記に該当しない場合は評価しない。	10	
小 計					40
予定管理技術者の経験及び能力【28点】	資格要件	技術者資格等、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ・技術士(総合技術監理部門:上下水道-下水道)及び(上下水道部門:上下水道-下水道)の両方を有する(2点) ・技術士(総合技術監理部門:上下水道-下水道)及び(上下水道部門:上下水道-下水道)のいずれか一方を有する(1点) なお、上記に該当しない場合は選定しない。(資格要件を満たさない。)	2	
	専門技術力	①同種業務の実績	平成26年度以降に完了した同種業務の実績について下記の順位で評価する ・同種業務の実績が5件(14点) (ただし、実績が5件のうち下水道事業におけるPPP/PFI導入検討業務が2件以上含まれること。) ・同種業務4件(10点) ・同種業務2件以上4件未満(5点) なお、2件未満の業務実績が無い場合は選定しない。(資格要件を満たさない。)		14
		②下水道部門における業務表彰実績の有無	表彰実績は、平成26年度以降に九州管内で完了した業務とし、国土交通省、日本下水道事業団、学会、各種協会等から受賞したものを評価する。 ・業務で1件以上の表彰実績有り(4点) なお、上記に該当しない場合は評価しない。		
地域精進度	③当該地域の業務実績	令和1年度以降の業務実績について下記の順位で評価する。 ・佐賀市内での2件以上の業務実績有り(8点) ・佐賀市内での1件以上の業務実績有り(4点) なお、上記に該当しない場合は評価しない。	8		
小 計				28	
予定照査技術者の経験及び能力【各16点】	資格要件	技術者資格等、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ・技術士(総合技術監理部門:上下水道-下水道)及び(上下水道部門:上下水道-下水道)の両方を有する(2点) ・技術士(総合技術監理部門:上下水道-下水道)及び(上下水道部門:上下水道-下水道)のいずれか一方を有する(1点) なお、上記に該当しない場合は選定しない。(資格要件を満たさない。)	2	

	業務執行 技術力	①同種業務の実績	平成26年度以降に完了した同種業務の実績について下記の順位で評価する。 ・同種業務の実績が5件（10点） （ただし、実績が5件のうち下水道事業におけるPPP/PFI導入検討業務が2件以上含まれること。） ・同種業務の実績が4件（6点） ・同種業務2件以上4件未満（3点） なお、2件未満の業務実績が無い場合は選定しない。（資格要件を満たさない。）	10
		②下水道部門における業務 表彰実績の有無	表彰実績は、平成26年度以降に九州管内で完了した業務とし、国土交通省、日本下水道事業団、学会、各種協会等から受賞したものを評価する。 ・業務で1件以上の表彰実績有り（2点） なお、上記に該当しない場合は評点しない。	2
	地域精進度	③当該地域の業務実績	令和1年度以降の業務実績について下記の順位で評価する。 ・佐賀市内での1件以上の業務実績有り（2点） なお、上記に該当しない場合は評点しない。	2
小 計				16
予定担当技術者の 経験及び能力 【各16点】	資格要件	技術者資格等、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ・技術士（総合技術監理部門：上下水道－下水道）及び（上下水道部門：上下水道－下水道）の両方を有する（2点） ・技術士（総合技術監理部門：上下水道－下水道）及び（上下水道部門：上下水道－下水道）のいずれか一方を有する（1点） ・RCCM（下水道）を有する（1点） なお、上記に該当しない場合は選定しない。（資格要件を満たさない。）	2
		業務執行 技術力	①同種業務の実績	平成26年度以降に完了した同種業務の実績について下記の順位で評価する。 ・同種業務の実績が5件（10点） （ただし、実績が5件のうち下水道事業におけるPPP/PFI導入検討業務が2件以上含まれること。） ・同種業務の実績が4件（6点） ・同種業務1件以上4件未満（3点） なお、1件未満の業務実績が無い場合は選定しない。（資格要件を満たさない。）
		②下水道部門における九州管内での業務表彰実績の有無	表彰実績は、平成26年度以降に九州管内で完了した業務とし、国土交通省、日本下水道事業団、学会、各種協会等から受賞したものを評価する。 ・業務で1件以上の表彰実績有り（2点） なお、上記に該当しない場合は評点しない。	2
	地域精進度	③当該地域の業務実績	令和1年度以降の業務実績について下記の順位で評価する。 ・佐賀市内での1件以上の業務実績有り（2点） なお、上記に該当しない場合は評点しない。	2
小 計				16
※参考 うち予定技術者（管理、照査、担当）点数計×0.5（＝二次審査の評点に含まれる移行点数）				30
合 計				100